



地域包括支援センター引野 通信



2015 年秋号

編集・発行
福山市地域包括支援センター引野
2015（平成27）年9月発行

『認知症カフェ ぷらちな』 始まりました。

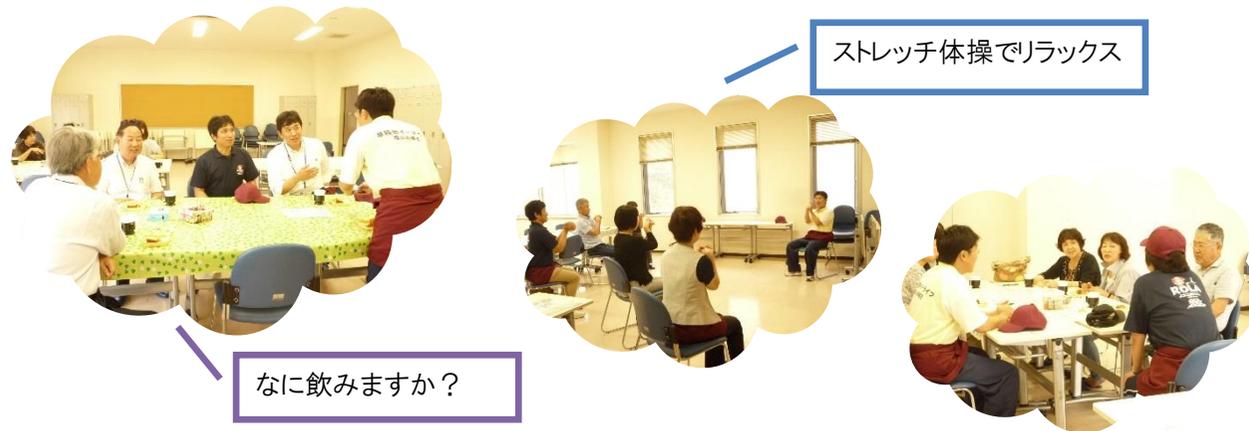
地域包括支援センター引野は、これまで認知症サポーター養成講座や、福山地区認知症の人と家族の会を通じた活動へ取り組んできました。

そこでは、認知症について考えるみなさんとの出会いや、思いを伝えあうことで沢山の学びがありました。これは、出掛けて行く場所があるから出来る事なので、もっと違う集まりが作れたら、私たちが出会えたように、新たな出会いがあるのかもしれない。

ちょっとお茶でも飲みながら、誰かと気軽に話したり、好きな事を披露したり、悩みが共有できる場所があったら良いなあ… そんなイメージで、7月8日カフェは出発しました。

記念すべき第1回目は地域住民さん、民生委員さん、福山地区認知症の人と家族の会役員さん、専門機関のみなさん等20名近い参加を頂きました。

第2回目8月12日(水)は、初回ほどの参加が頂けず、広報活動の不足を感じる結果となりました。残念がる職員に対し、出席して下さった方から「継続して行く事で活動が広がっていく」との言葉を頂きました。コツコツ続けて行きながら、住民さんが気軽に立ち寄れる場所になりたいと思っております。



ホームページも見て下さいね (^_^*)
『houkatuhikino.rgr.jp』
『包括引野』で検索して下さい。

「地域福祉」について考えてみませんか？ シリーズ⑥

「誰もが、住みなれた地域で生き生きと自立した生活を送る事ができる・・・」
そんな地域を作る為には、助け合いの心を育てる福祉教育やNPO活動、まちづくり、住民活動やボランティア活動等々の地域における多様なサービスや、活動が組み合わせられ、連携することが欠かせません。
今回は大門町日之出丘地区で月一回開催されている「日之出丘サロン 話囲我舎（わいがや）」にお邪魔して来ました。

日之出丘地区は日本鋼管福山製鉄所の開業後に出来た住宅街です。住民の方々は「人と人の繋がりを大切にしよう」という強い思いを持ち、様々な活動に積極的に取り組んでおられますが、その一つが今回のサロン活動という訳です。

発足して2年目のこのサロンですが、内容は毎月変わりウォーキングや手打ちソバ作り、流しそうめん等々・・・飽きずに楽しめるよう趣向を凝らしてあります。

今回のメニューは中華そばと餃子づくり。

手分けして手際よく準備される姿から、みなさんが日頃から集まって地域で活動されているのがよく分かりました。
料理の味はもちろん、みなさんの笑顔でのおもてなしも、とても素敵でしたよ！

日之出丘地区の方で興味のある方は是非、足を運んでみてください (*^_^*)

【日之出丘サロン 話囲我舎（わいがや）】
（日 時）月一回（年間スケジュールによる）
（場 所）日之出丘クラブ
（会 費）お茶代として100円/人 食事予定の場合は実費を当日徴収。
（問合せ）日之出丘各ブロック幹事もしくは亀山氏まで。



みんなで昼食。
つつい話も弾みます。



地域の方々の居場所として
定着しています。



みなさんの手作り！
冷やし中華と餃子です。